

実証目的

歩容解析AI等を用いた次世代予防・健康づくり事業の概念実証

事業概要

AIによる歩く姿の分析や、理学療法士からの運動に関する個別アドバイスがもらえるスマホアプリを用いて、一人ひとりの身体機能の見える化と運動に関する行動変容を促し、神戸市民の予防・健康づくりの推進を目指す実証事業である。

解決する課題

コロナ禍において人との接触や移動が制限される中、運動不足に伴う様々な健康問題が課題となっている。本実証事業では、AI/ICTツールを用いて誰もがどこにいても非対面で運動に関する専門的なアドバイスを受けられる環境を整備することで、神戸市民の運動や身体活動に対する意識やモチベーションの向上と、行動変容に伴う健康増進や介護予防等の推進を図る。

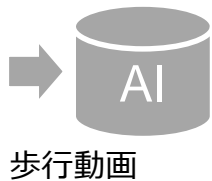
先駆性・独自性

本事業で使用するアプリに搭載しているAIは熟練理学療法士の知見を学習している。センサーやウェアラブル機器などの装着具は一切不要で、対象者の歩いている様子を手元のスマートフォンで撮影するだけでAIによる歩容解析が完了。そして、歩行機能の数値化や、それらに基づいた転倒リスクの予測をするとともに、その人にあった運動提案を自動的に行う。また、撮影されたその他の動作に関する動画に対しては、理学療法士がアプリを通じて一人ひとりに個別の添削/アドバイスを実施。これにより、遠隔でもその人にあった運動指導が可能となる。

歩行やさまざまな運動の様子などをスマホで撮影

AIが歩行を数値化して転倒リスクを分析
また、その方におすすめの運動を提案

理学療法士が個別にアドバイスを返信
運動の理解とモチベーションアップ



その他の動画



eveRehab
株式会社エブリハに所属する
理学療法士が指導を実施

